

BTMU CHINA WEEKLY

発行：三菱東京UFJ銀行 国際業務部 海外業務支援室

編集：三菱UFJリサーチ & コンサルティング 海外アドバイザリー事業部 中国グループ 情報開発チーム

EXPERT VIEW: 中国における保証法制

中国の現地法人の取引も多様化し、日系現地法人同士の取引のみでなく、中国の現地資本の会社との取引も一般的となっています。日本における取引と同様に、中国国内の取引においても、取引先及び個別の取引における与信及びリスク管理の重要性が高まってきています。

上記の与信及びリスク管理といっても、その対象分野は広汎で、かつ、個々の事情に応じて適正に対応する必要があります。また、中国では、企業信用調査等の信頼性が一般的に低いといわれており、実際の取引においては保証をはじめとする各種の代金支払担保、契約履行担保をどのように得ていくのかが常に問題となります。今回は、代金支払担保の代表的な契約である、保証契約について、中国の法制を検討したいと思います。

Q: 当社(A社)は、江蘇省に機器部品の製造・販売に従事する独資会社(B社)を有しています。この度、中国資本の1次部品メーカーC社からB社に引合いがあり、初めて取引を開始し、当初の取引の履行状況を見つ、継続的な取引関係に発展させていくことを考えています。C社からのオーダーは初回であるもののその代金が100万元を超えることから、B社としては、何らかの代金支払担保を得たいと考えています。C社との協議の上、セットメーカーであるD社が連帯保証をするということで話を現在つめている状況です。中国の連帯保証も日本におけると同様に、C社が代金支払債務を履行しない場合には、無条件でD社に対して代金支払を請求することができると思うのですが、中国の法律にかかわることであり、確信が持てません。上記のような取引における中国の連帯保証について、何か注意すべき点があるでしょうか？

A: 中国における保証とは「債務者が債務を履行しない場合に保証人が約定に従い債務を履行し、又は責任を負う旨を保証人及び債権者が約定する行為をいう。」と定義され、また、保証契約において保証人が債務者と連帯責任を負う旨を規定することにより、保証人に連帯保証責任を負わせることができるとされており、日本の連帯保証とその成立面において大きな違いはありません。ただし、中国では、保証人の負う責任を行き過ぎたものとしないうという観点から、保証人の責任を一定の範囲に制限する「保証期間」という概念や、被保証債権について他の物的担保が提供されている場合の保証人の負う責任等について、日本の保証の場合とは異なる考慮が必要となります。

1 連帯保証の概要

中国においても、債務者が債務を履行しない場合には、保証人が連帯して債務の履行に責任を負う旨を保証契約において書面で約定することにより、連帯保証を行うことができます(「担保法」第6条、第18条)。

被保証債務の範囲は、基本的には保証契約の約定に従いますが、主債務のほか、利息、違約金、損害賠償債務及び債権の実現費用を含めることができます(「担保法」第21条)。

連帯保証とする場合、債務者がその債務の履行期限に債務を履行しない場合には、債権者は、債務者に債務の履行を求めることも、直接に連帯保証人に保証債務の履行を求めることもいずれも可能である点も、日本と同様です。

ただし、日本法と異なる制度もあります。その主なものが、次にご説明する保証期間という概念と、物的担保が併存する場合における保証人の責任の限定です。

2 保証期間

保証期間は、一般的には、保証人が保証責任を負うべき期間を言うと考えられますが、より実質的には、債権者にとっては保証人に保証責任を負うよう要求することが可能な期限、保証人にとっては期限内に保証責任の履行要求を受けなければ保証責任を免れることができる期限ということができると思います。即ち、債権者が保証期間内に保証人に保証責任を負うよう要求した場合には、実体法上、保証人の保証責任は免除されませんが（ただし、訴訟時効は、連帯保証の場合にはその要求の時から別途進行します。）、債権者が保証期間内に保証人に保証責任の履行要求をしないまま保証期間が経過した場合には、保証人は保証責任を免れます。

このような保証期間という概念は、日本の民法上にはない概念であるためなじみにくく、また、中国法上も、保証期間の性質、機能に関する解釈が錯綜し理解が必ずしも容易でないのですが、その基本的な効果は上記のとおりであり、保証期間に関する講学上の位置づけはさておき、実務においては、保証人の責任を限定する機能を有する概念として、上記のように運用されています。

保証期間は、債権者と保証人との間で保証契約において定めることができます。保証期間の約定をしない場合には、主債務の履行期間満了日から6か月（連帯保証の場合）として定まります（『担保法』第26条）。保証期間は、保証人の保証責任を画する期間であることから、保証契約において、保証期間という制度の存在意義を無にしない程度に合理的な範囲で、できるだけ長く設定することが望ましいと考えます。

なお、連帯保証の場合、保証期間中に保証人に保証責任の履行を要求することにより、保証責任を免れさせない効果を生む一方で、当該要求の日から保証契約の訴訟時効（2年）が進行するため（『中華人民共和国担保法』の適用の若干の問題に関する最高人民法院の解釈』第34条第2項）、訴訟時効の中断措置を適宜とすることも、必要です。

3 物的担保と保証が併存する場合

債務の履行をより確実に確保する観点から、連帯保証のみならず、何らかの物的担保（重要動産への質権設定、不動産への抵当権設定等）を提供させることを検討することがあるかもしれません。

この点、日本の民法下では、物的担保と連帯保証が併存する場合に、連帯保証人に対する責任追及の順序、範囲が限定されることは基本的にありませんが、中国では、一定の条件の下、保証人への保証責任の履行請求を制限する取扱いがなされています。

具体的には、同一の債権に物的担保と人的担保の双方が設定されている場合の担保権の行使順序は、

（1）第一次的には当事者間の約定に従うが、

（2）約定がないか、又は約定不明確な場合には、①物的担保を提供したのが債務者以外の第三者（物上保証人）であれば債権者は物的担保と保証のいずれに対して担保権を行使するかを選択することができる（保証人は物上保証人提供の物的担保が実行されていないことをもって保証債務の履行を拒むことができない）が、②物的担保を提供したのが債務者自身であれば債権者はまず債務者が提供した物的担保を先に実行しなければならない（保証人は、債務者提供の物的担保が実行されるまでは保証債務の履行を拒むことができる）とされています（物権法176条、178条）。

上記のように、一定の範囲で物的担保への優先性を認めることは、債権実現時の保証と物的担保の相互の責任の押付け合いを回避し、保証人の責任を軽減する効果をもたらしますが、債権者にとっては、あまり資産価値の低い物的担保や担保権の実行が容易でない物的担保を保証と併存させることは、連帯保証人への保証責任の追及を遅らせるおそれがあり、連帯保証とすることで保証人へのスピーディーな責任追及を目指す意図を削ぐおそれもあります。物的担保と保証を併存させる場合には、むやみに担保をとることで安心せず、担保としての価値や実行可能性のバランスに考慮して、適正にその行使順序を約定しておくことが重要であると思います。

弁護士 赤澤 義文

弁護士 中島 あずさ

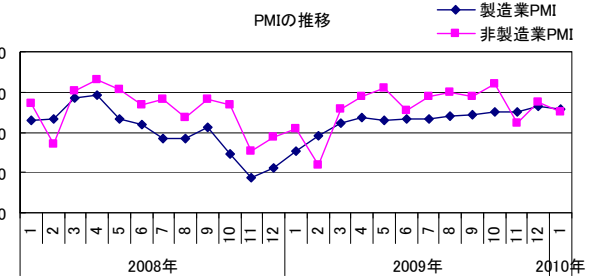
CHINA WEEKLY

WEEKLY DIGEST

【経済】

◆**今年の政策課題 引き続き「三農」に重点**：中国共産党中央委員会と国務院は1月31日、今年の最重要課題を示す「中央1号」文書を発表し、農業・農村の基盤を一層強化する等、「三農」（農業・農村・農民）を重視する方針を掲げた。「三農」問題を「中央1号」文書で取り上げるのは、2004年以降7年連続となる。都市と農村の発展の一体化を基本とし、農民生活の改善、農村需要の拡大、近代農業の推進、農村の都市化を進めることで経済成長方式の転換を図り、持続的な経済発展を目指すとしている。具体的には、財政投入の増加、農村部の金融サービスの充実、「家電下郷」（農村での家電品販売）の対象製品拡大と販売上限価格の引き上げ、農民工の都市部定住の促進などの措置が盛り込まれている。

◆**1月製造業 PMI 指数下落 但し回復基調は維持**：中国物流購買連合会が発表したデータによると、1月の製造業購買担当者指数（PMI）は前月比▲0.8ポイントの55.8となった。前月の56.6からは下落したものの、11ヶ月連続で景気回復の分岐点となる50を超え、製造業の回復基調は続いている。PMIの構成別で見ると、原材料仕入価格指数が0.8ポイント上昇、輸出受注指数が0.6ポイント上昇。一方、生産指数、従業員指数等は前月比下落したが、いずれも50ポイント以上を維持している。なお、非製造業のPMIは前月比2.4ポイント下落の55.1となった。



(資料)中国物流購買連合会

◆**国家情報センター 今年第1四半期 GDP 成長率11.5%と予測**：国家情報センターは2月5日、今年第1四半期の中国GDP成長率が+11.5%との予測を発表した。景気刺激策効果の継続、民間在庫投資の増加等により、中国経済は今年第1四半期も回復が続くものと見ている。その他の指標について、工業生産（付加価値）が+17.9%、社会消費財小売総額が+17.8%、CPIが+2.5%、輸出が+16.0%、輸入が+32.0%といずれも前期を上回る予測値を示している。一方、中央政府は今年から過度な投資・融資の抑制を行うとしており、都市部固定資産投資の伸び幅は前期の24.8%より鈍化して22.5%になるとした。

◆**2009年 GDP 成長率に対する重要項目別寄与度**：2月2日に国家統計局が発表したデータによると、2009年のGDP成長率8.7%に対する重要項目別寄与度は、投資8.0%、外需▲3.9%、消費4.6%となった。

【産業】

◆**自動車業界 生産過剰懸念が浮上**：昨年末以来、工業・情報化部、発展改革委員会は相次いで自動車メーカーに対し、投資プロジェクトの進捗状況や今後の生産・投資計画の報告を求める通知を出しており、自動車の生産過剰懸念が浮上している。中国では、近年の好調な自動車販売を受け、合併自動車メーカー18社が2012年までに生産能力を現状比50%引き上げるほか、国内自主ブランドメーカー18社も同年までに生産能力を現在の4倍近くまで拡大する計画を示しており、2012年末には自動車業界全体の生産能力は2,500万台に達するとみられている。これに対し、国家情報センター情報資源開発部主任は、今後3年間、中国の自動車生産・販売台数は年10～15%程度拡大し、2012年の生産・販売台数は2,000万台前後と予想されるため、約500万台が生産過剰に陥るとの見方を示している。また、工業・情報化部関係者は、具体的措置は決まっていないものの、過剰設備と判断されれば、新規・拡張プロジェクトを暫定停止、或いは中止させる可能性もあるとのコメントを発表しており、自動車生産を巡る今後の当局の動きに注目が集まっている。

【金融・為替】

◆**外管局 2009年国際収支統計を発表**：2月5日、外管局（国家外貨管理局）が2009年の国際収支統計の暫定値を発表した。経常収支は前年比▲35%で2,841億米ドルの黒字、うち貨物貿易が2,493億米ドルの黒字、サービス貿易が287億米ドルの赤字、資本・金融収支は1,091億米ドルの黒字、うち、直接投資による資金流入は365億米ドルの黒字、また、外貨準備は3,821億米ドルの増加となった。

人民元の動き

日付	USD				JPY (100JPY)		HKD	EUR		金利 (1wk)	上海A株 指数	前日比
	Open	Range	Close	前日比	Close	前日比		Close	前日比			
2010.2.1	6.8269	6.8269~6.8277	6.8274	0.0006	7.5468	-0.0374	0.8789	9.4867	-0.0441	1.8500	3084.56	-50.19
2010.2.2	6.8272	6.8268~6.8276	6.8269	-0.0005	7.5465	-0.0003	0.8789	9.5141	0.0274	1.7800	3077.58	-6.98
2010.2.3	6.8268	6.8265~6.8274	6.8266	-0.0003	7.5760	0.0295	0.8790	9.5538	0.0397	1.9000	3150.01	72.43
2010.2.4	6.8269	6.8268~6.8272	6.8269	0.0003	7.5212	-0.0548	0.8786	9.4468	-0.1070	1.4500	3140.98	-9.03
2010.2.5	6.8270	6.8269~6.8277	6.8271	0.0002	7.6167	0.0955	0.8785	9.3455	-0.1013	1.7200	3082.35	-58.63

RMB レビュー&アウトルック

今週の人民元は6.8269で寄付き後、金融引き締め懸念から上海総合株価指数が週を通して概ね3000を下回る水準で軟調に推移し、また週末にかけて海外市場では対主要通貨で米ドルが堅調に推移する動きが強まったが、人民元為替市場への影響はいずれも限定的となり、6.8270近辺での小幅な値動きに終始し、6.8271で越週となった。来週は旧正月を控え、徐々に取引は閑散となることが予想され、為替相場も動意に乏しい展開となりそうだ。ただし過去、大型連休前に政策や規制の発表がなされたこともあり、当局の動向には特に注意を要する週と言えるだろう。(2月5日作成)

(市場営業部 為替営業推進グループ グローバル営業ライン)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作権法により保護されています。